

施設名	ぼる★キッズ足立
施設所在地	足立区中央本町4-3-23
法人名	生活協同組合パルシステム東京

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生物とのふれあい（ちょうちょなど）
～光を使った色水あそび～

<テーマの設定理由>

「むしたちのひろば」で朝顔を育て、種まきから花の成長を見守り、花を摘んだ。色とりどりの摘んだ朝顔を見て、色水作りに活用できないかと考え、色水遊びを行うことを考えた。さらに、太陽に反射する色水から、光に興味を持ち、セロファンを通した光の色遊びをへと活動を派生させた。
テラスで水あそびをする中で、太陽の光がテラスに差し、水に反射する光を見て「きれい～!」「びかびか光ってる!」などの声が子どもたちから上がった。他の子どもたちから「光ってなーに?」という問いもあり、光に興味を持ち始める。今まで取り組んできた【むしたちのひろば】と【自然の光】を繋げられないかなと保育者が質問を投げかけると「水に色を付けたらどう?」「太陽の光に映したらキレイだね!」と年長児が気が付く、「どうやって水に色をつける?」と保育者が質問をすると

2. 活動スケジュール

・太陽光を活用した朝顔の色水あそび（8月9日）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・透明カップ
・R1ボトル
・朝顔
・他生花
・テラスに差す自然光の為、時間の設定など

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園庭に咲いた朝顔を摘む。
色や大きさを自分たちで選び、透明のカップに入れて、摘んだ朝顔を揉む。
水の色が少しずつ変わり、その変化を楽しむ。
その透明カップに太陽の光が差すと朝顔の色水がゆらゆらと揺れ、さらに鮮やかに発色することを知る。
科学的な反応に好奇心を持ち、今後どのような光遊びが展開されるか楽しみである。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・「この朝顔の方がキレイな紫色だからこの朝顔にする!」と言ってお花を摘む。
・摘んだ朝顔を透明のカップに入れて揉むと水の色が変化し、「私のは紫色になった!」「私のは薄いピンク色かな」などと色を見せ合い盛り上がる。
・最初は1カップに朝顔の花を一つ入れていたが、濃い色にするためにどうすれば良いのか考えて、複数入れて楽しむ姿が見られた。
・場所を移動して、太陽光が差す位置を確認し、各自カップを上げて色の変化を楽しむ。
・「見て!見て!僕のはキラキラ光っている」と嬉しそうに友だちに伝える。



▲お花から色が出てきたよ! ▲ジュースですよー! ▲水がキラキラしてる! ▲電気とおひさまの光。違う?

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

偶然、水あそび中に太陽の光がタライに映り、ゆらゆら揺れる、キレイな光から新しいすくわくプログラムのテーマに繋がったことが良かった。また、子どもたちの【光っている!】【水がキラキラしている!】という言葉に保育者が気が付いたことも今回のテーマに発展することができた。今回のすくわくプログラムを通じて、子どもの探究活動を展開するには保育者の環境設定がとても重要であり、その子どもたちの言動に保育者がいかに気が付けるかも課題である。光あそびに関してはお花を使っての色水をテーマに活動したが、次なる光あそびが展開できるように環境を整えていきたい。